



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

- 発行：令和4年3月
- 発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 発行者：理事長 中尾清一郎
- 編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2022-3 Vol.33

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

有田ポーセリンパーク

ドイツ・マイセン市と姉妹都市である有田町のテーマパーク、「有田ポーセリングパーク」。ドイツ・ドレスデンにある同名の宮殿を再現したツヴィンガー宮殿と、ヨーロッパ式の古代庭園を再現したバロック庭園では、中世ヨーロッパにタイムスリップしたかのような異空間で、ゆったりとしたひとときを過ごすことができます。昨年は映画『劇場版 ルパンの娘』の一部撮影も行われました。



- 巻頭言…2
- REPORT…3
- 事業所 TOPICS…4~5
- タイムス特集…6~7
- 常務随想 リレーコラム…8
- ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…8

| | | | |
|---|--|--|---|
| 法人事務局 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611 | こども発達医療センター 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391 | オークス 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772 | かんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977 |
| 在宅サポートセンターかんざき清流苑 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977 | からつ医療福祉センター 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683 | からつ医療福祉センター-在宅事業部 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683 | からつ医療福祉センター-好学会 〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001 |
| 糸島子どもとおとなのクリニック 〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361 | かんざき日の隈寮 〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229 | 佐賀向陽園 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145 | 居宅介護支援センターわいわい 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252 |



コロナがあぶり出した 日本の諸問題

佐賀整肢学園
理事長

中尾 清一郎

コロナの本格的な感染拡大から丸2年が経過した。医療・福祉現場で働く皆さんの気遣いや私生活にも及ぶ苦労に対し、心から敬意を表する。

私は2020年3月初旬にトルコのイスタンブールから帰国したが、帰国便の韓国・インチョン空港経由のフライトが韓国の「コロナ水際対策」のためキャンセルとなり、新たに日本直行便を取り直さなければならなかった。日本では海外旅行からの帰国者を忌避する傾向が強くなり、未知のコロナウイルスに対する恐怖感と相まって感染・発症を異常に恐れていた。都会ではともかく、地方都市では「どこの誰が感染した」と言う情報はたちどころに広まり、所属する組織や家族が批判にさらされるという、日本社会の幼稚な一面が露呈した。さらに政治の混迷は目を覆うばかりで、マスクの品薄を見て「全国民に郵送でガーゼマスクを2枚配布」いわゆる「アベノマスク」事業がスタートした。直接経費だけで440億円を投じたこの施策は、ガーゼマスクの業者が国内にほとんどおらず、それに突貫で発注するものだから不良品続出、しかもそれを郵便局員が各家庭に手配り、というから信じられない愚策である。案の定、マスクができて配送が始まったころにはマスク需要が落ち着き、しかもガーゼやウレタンマスクではウイルスは防げないことも周知され、ますます無用の長物と化した。国民への負担増、という点では「小、中、高校の一斉休校」が最大の迷惑であった。国民がどのような家族構成で、共働きの実態を政治家は全く理解していない、ということだ。政治家の劣化、とりわけ世襲議員の「常世離れ」が批判されることは多い。安倍氏にしても、祖父は総理大臣、父は外務大臣、本人は子供なし、では国民生活の実感が欠落するのは当然だろう。しかし、そんな総理を補佐するのが他の閣僚であり「ベスト&ブライテスト」であるはずの官僚たちであるはずだ。民間の「自粛警察」も民度の低さの現れである。また、異常なまでの「マスク信仰」、学校での「黙食」までは許せるとして、「給食は15分以内で食べる、ストップウォッチスタート」を全国で大まじめにやっている。このバカバカしさ、幼稚さをおかしい、恥ずかしいと思わないほど日本社会は大人の常識を喪失してしまっている。

そもそも、毎年インフルエンザで多くのお年寄り、持病のある人が命を落としているのは現場の皆さんにとって常識であろう。コロナではそれをいちいちカウントし、役所の決めた煩雑な項目を記入して「電話やファックスで」「毎日集計」しなければならないのだから保健所がパンクするのは当たり前である。地方レベルではそれに「濃厚接触者」を特定しなければならない。最近のオミクロン株では発症期間が短いことが知られているが、濃厚接触者の隔離期間は当初10日間であった。これでは感染させた本人の方が早く「社会復帰」できるという本末転倒の事態が起きる。行政の制度設計を担う「頭がいい」人たちの考えることはこの程度なのだろうか。もちろん、諸外国もコロナ対策でうまくいっているわけでは決していない。感染者数や死者数が少ないことが善ならば、日本は健闘していると言える。しかし、国民の納得度は低い。それではいわゆる先進国型の対策と、日本の違いは何だろうか。それは国のリーダーが自分の責任において政策の方向性を決定し、誤ったと感じたらすぐに謝罪して方向転換する勇気である。日本のように「専門家の先生方のご意見も承りながら、経済情勢にも目配りしつつ日常生活への影響を最小限に止める努力を怠らず」などと、文言は丁寧だが要は「自分は何も考えない」に等しいのではないか。

欧州最高の知性と目され、多くの近未来現象を人口統計の分析から的中させてきたエマニュエル・トッドは「誤解を恐れずに言うならば、日本のコロナ対策は老人の命を守るという大義名聞のため子供、若者、働き盛りの世代の大事な2、3年間を犠牲にした」（『老人支配国家 日本危機』）とまで言い切った。私はこのような勇気ある言辞に本当の知性の輝きを見る。

補助 事業

佐賀整肢学園・佐賀向陽園自家発電機入替及び油庫設置工事

全国石油商業組合連合会様の補助金を活用させていただき、令和4年1月31日に自家発電機の入替工事が完了いたしました。1984年製造の当施設の自家発電機は、消火設備を稼働する分だけの容量しかなく、さらに、取替用の部品もすでに製造されておらずメンテナンスが出来ないという危機的状況にありました。

天災が多発し、何時どこで災害が起きてもおかしくない昨今、福祉（高齢者）施設である当施設としては、災害時にライフラインである電気等の供給を最低73時間（3日間）維持できるような自家発電機を導入することで、入所者の方はもちろんですが、近隣地域の方の緊急避難先としての役割を果たせるようになります。

これを機に、職員一同、入所者の方の安心した生活の維持と併せて、地域貢献にもより一層力を注いでいきたいと思います。

○事業名：佐賀整肢学園・佐賀向陽園

自家発電機入替及び油庫設置工事

○施工業者：株式会社佐電工



○事業費：総額 39,050,000円（税込）

内訳 ・補助金17,250,000円

（全国石油商業組合連合会）

・自己資金 19,800,000円

（佐賀向陽園 事務長 大島 和美）

定年 祝賀

法人内の各施設に勤務され、3月末で定年を迎えられた 8名の職員からのメッセージをお届けします。

柳川 智子（生活支援員）

こども発達医療センター第3療育課生活支援係副係長
利用者さまの笑顔と職場の皆さまに支えられ、定年という節目を迎えられたことに深く感謝いたします。もう少しお世話になりますので、よろしく願いいたします。

広滝 えみ子（看護師）

かんざき清流苑入所サービス課看護係係長
これまで大きな病気や怪我也もなく、60歳という長寿の最初の節目である還暦を迎えられ、私を支えてくださった方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。また、看護師という職種に携わり、これまでこの仕事を続けられたことは私の大きな宝物です。

石井 光治（歯科医師）

からつ医療福祉センター医療課診療係
42歳でからつにやって来て、無事定年を迎えることができました。サポートしていただいた方々すべてに深く深く感謝いたします。でも、まだまだエレベーターは使わず階段を上るつもりです。よろしく願いいたします。

城 紀子（保育士）

からつ医療福祉センター児発センター課放課後等デイ係副係長
入社して20年間、子どもに接する仕事ができ幸せでした。大した知識はなく、興味だけで飛び込んだ世界でしたが、周りの方のお陰で何とかやってこれました。ここまで育てていただき感謝しかありません。

松本 富美（生活支援員）

からつ医療福祉センターアルト入院診療部看護生活課生活支援係
入社して15年、何もわからなかった私に暖かく指導して頂き、ありがとうございました。職員の皆様にも恵まれ、今日まで仕事を続けられた事に本当に感謝しています。これからも利用者様の笑顔が増える様な支援を心掛けます。もう少しお世話になりますので宜しくお願いします。

有尾 奈保子（生活支援員）

からつ医療福祉センター久里双水園サービス管理部入所サービス課生活支援係
お陰様で無事に定年を迎える事が出来ました。2003年に入社し、アルトン、居宅、久里双水園と仕事をさせて頂きました。毎日楽しく仕事が出来たのは、上司をはじめ職場の皆様のおかげと感謝しています。ありがとうございました。

定松 智恵子（生活支援員）

かんざき日の隈寮入所サービス課主任
平成20年民間移譲の時期に縁あって入社し、あっという間の14年でした。皆さんに支えられ助けられて一区切りの定年を迎えることができ感謝しかありません。今後も皆さんの足を引っ張らないように頑張りますのでよろしくお願い致します。

江口 博子（主任生活相談員）

佐賀向陽園入所サービス課課長
民間移譲から12年。仕事の機会を頂けたことに深く感謝いたします。職場の皆様と家族の支えに励まされ、定年まで勤めることができました。皆様との出会いは私の大切な大切な財産です。本当にありがとうございました。

8名の職員の皆様
お疲れ様でした。
ありがとうございました。

事業所 TOPICS

(11月～1月)

焼き芋会

11月 オークス



11月27日、放課後等デイサービスでは、食育活動の一環として焼き芋会を開催しました。さつまいもは利用者の方と苗から育て、収穫したものです。芋ほりの時から「焼き芋したいね!」と楽しみにされていました。

まずは朝から火起こしです。利用者の方も職員と一緒に必死にうちわで扇いでくれました。なかなか火が出ず、火おこしに2時間かかってしまいましたが、みんなでさつまいもをアルミに包み、今年新調したバーベキューコンロで焼いていきます。また、さつまいもと別に育てた落花生も焼いていきます。だんだん焼き芋の良い香りが漂ってきました。あつあつの焼き芋の完成です。できたての焼き芋を食べて、利用者の方は「去年より美味しいね!」、「何回やってもいいね!」と喜ばれていました。落花生もふっくらで香ばしく大人気です。焼き芋は、ペースト食の利用者の方も牛乳でつぶしながらペースト状にすることで、安心して食べていただくことができました。

コロナ禍で様々な活動制限が続くなか、利用者の皆様の笑顔がなによりの励みになります。これからも多くの笑顔を見ることができるよう、工夫をしながら楽しい時間を共有していきたいと思います。

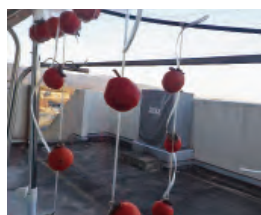
(在宅サービス課 児童指導員 横尾 由希)



干し柿づくり

11月

かんざき日の隈寮



こども発達医療センターで収穫された渋柿を使って、干し柿作りをしました。柿むきに集まっていたいただいた利用者の方は、かつて食品加工工場や料亭で働かれていた方々です。久々の包丁や食品を扱う作業に、嬉しそうに取り組みました。「こいはこのあと、どげんするつもりね。」「ほんとは焼酎とか振りかけて作ると良いけどね。」等、紐の掛け方や干している時の管理方法の他、色々な事を職員にアドバイスされ、生き生きとされている様子がとても素敵でした。途中、職員の呼びかけで参加された利用者の方は、「いや、包丁はもう5年くらい触ってないです。」と、不安げに話されましたが、スルスルスルッと慣れた手つきでむかれ、作業が進むうちに緊張がほぐれたようでした。「わあ、美味しそう!」「これ、渋柿よ!」という楽しい会話と、次々と干されていく柿のカーテンがノスタルジックな晩秋の夕暮れを明るくしていました。

(入所サービス課 副主任 井上 早帆)



喀痰吸引研修

11月

かんざき清流苑



平成24年度の「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正により、喀痰吸引研修を修了することで、介護福祉士も痰の吸引、経管栄養の特定行為が実施できるようになりました。夜間、看護職員が常動していない清流苑では、痰詰まりや誤嚥性肺炎の予防のためにも介護福祉士による吸引は必須です。当苑にも研修を受け「特定行為業務従事者認定証」を取得した介護福祉士が16名います。また、指導看護師が5名おり、研修の受け入れを行っています。今年度は11月に1名実地研修を行いました。

現在、清流苑では看取りを含め重度の利用者の方が増え、日々吸引が必要な状況下にあります。参加した職員からは、今まで夜間は特に重度の方のケアに不安でいっぱいだったが、吸引の研修に参加したことで吸引の危険性についても十分に学ぶことができ、大変勉強になったとの声も聞かれました。利用者の方を安全にケアしていく中で、指導する私共も利用者の方に安全と安心を提供することで、より一層力が入り、非常にやりがいを感じています。

また、吸引等の特定行為ができることで、介護福祉士は利用者の状態観察への意識が向上し、スキルアップに繋がっています。介護福祉士全員の取得を願い、清流苑がより一層地域の皆様に愛されるよう、今後も看護、介護を始め、他職種との連携を図り、利用者の皆さんに安全で安心した生活を送っていただけるよう、支援していきたいと思っています。

(入所サービス課 係長 広滝 えみ子)

クリスマス会

12月

こども発達医療センター



12月25日、第1病棟でクリスマス会を開催しました。
今年は、「サンタさんへ手紙を届けてプレゼントを貰おう！」をテーマにシナリオを作成し、ひとつの物語のような会を行いました。

まず、トナカイが持つソリに利用者の皆さんそれぞれが自分の想いを描いた手紙を入れていくゲームを行いました。次に、みんなの手紙がサンタさんに気づいてもらえるように合奏やダンスを行い、更に職員による演奏やダンスを披露してもらい、最後にサンタさんが登場してプレゼントを貰うという流れにしました。

今回一番こだわったのは、出し物に利用者の皆さんが全員参加することでした。今までは、ゲームには全員参加出来ても、出し物にはどうしても全員参加できないのが現状でした。しかし今回は、事前に台本を準備して、ミニコントをしながら職員と司会進行をしたり、職員と一緒にダンスや合奏をしたりと病棟全体がひとつとなりました。

最後はサンタさんへ想いが届きプレゼントを貰い、笑顔があふれるクリスマス会を過ごすことが出来ました。

(第1療育課 生活支援員 堀本 百花)

新年を祝う会

1月

からつ医療福祉センター

新型コロナウイルス感染防止のため、その対策を十分検討した上で外出支援を行っていますが、それでも利用者の皆さんの外出機会は少なくなってしまう、施設内で過ごしていただくことが増えてきています。そのため少しでも外出の雰囲気を感じられるように、施設内において様々な工夫を凝らしています。今回、令和4年の正月飾りとして神社の鳥居を作成しました。材料は建築材料のボイド管を用いて、1基は人の背の高さくらい、もう1基は天井に届くくらいの大きさのものを作成しました。これまでは、紙に鳥居を描いたものを使用していたため、2,3年程度しかもちませんでしたので、今回の鳥居は10年以上もってくれたらと思っています。まあボイド管といっても紙製ですので壊れることもあると思いますが、

その時はまた頑張ってもう一度作成するつもりです。

設置された鳥居を見た利用者の皆さんからは、驚きの声と歓声が上がり、久里双水園は新年を祝う会にふさわしい荘厳な雰囲気に包まれました。

新型コロナウイルスのオミクロン株の感染力の強さとその脅威については報道の通りですが、その対策は日々進んでいるようですので、施設内における感染をできるだけ防げるよう職員一同協力して対応していきたいと思えます。

(久里双水園 施設長 笠野 健二)



鬼火焚き

1月

佐賀向陽園・わいわい

1月13日に雪が散らつく中、佐賀向陽園にて鬼火焚きを実施しました。

コロナウイルス感染防止の為、今回も各事業所をリモートで中継し、密の分散を図るなどの感染対策をし、行事を行いました。

年始に使用した正月飾りや門松を焚く事により一年の無病息災を願う行事です。大きな門松は火を噴き「パチパチ」と大きな音を響かせていました。

ありがたいことに毎年、「佐賀栄城ライオンズクラブ様」よりお餅を頂いています。そのお餅を使って、職員手作りのぜんざいや豚汁を大鍋で作りました。利用者の皆さんは「やっぱり豚汁は美味かー。こがん寒か日にはよかね」と笑顔で舌鼓。

利用者の皆さん・職員一同、今年一年大病を患わない事を願い、コロナウイルスの猛威に挫けずに「大きく燃えたぎる門松の様に、力強く新たな一年を過ごしていきたい」と思える一日でした。



(居宅介護支援センターわいわい 主任 宮本 稔也)

タイムス特集

令和2年度に最初の留学生が来日してから、法人内では現在9名の留学生が就労しています。母国の紹介とともに、それぞれにインタビューをしました。

ミャンマー連邦共和国

| | | | |
|-----|-------------------------------|----|--------|
| 公用語 | ミャンマー語 | 首都 | ネーピードー |
| 面積 | 68万km ² (日本の約1.8倍) | | |
| 人口 | 5,141万人 (2014年9月) | 通貨 | チャット |



チー・レ・レ・ウーさん (からつ医療福祉センター)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
バゴ
バガン (バガン遺跡は、バガンで最も美しくバランスが取れた寺院。回廊の壁には砂岩に彫刻された仏陀の一生を楽しむことができる)
モヒンガー (ミャンマーの朝食で、ナマズの出汁で作ったスープに米でできた麺を入れたもの)
カレーライスが好きです。
落とし物をして戻ってくる場所。
日本の色んな事も勉強しながら良い介護福祉士になりたいです。
日本には遊ぶところも色々あるし、どこに行っても安全な国なので、皆様も日本に来て欲しいです。ありがとうございました。



モヒンガー

ネパール

| | | | |
|-----|----------------------------------|----|----------|
| 公用語 | ネパール語 | 首都 | カトマンズ |
| 面積 | 14.7万km ² (北海道の約1.8倍) | | |
| 人口 | 2,970万人 (2019年) | 通貨 | ネパール・ルピー |



タマン・サミナさん (オークス)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
バラトプル
ポカラ (山がいっぱいあり、登山やパラグライダーが楽しめる)
スパイスカレー (豆のスープやトマトピクルスが入っている)
焼肉
北海道の雪
JLPT N2 に挑戦したいです。
不安なことや失敗したことにも何度も挑戦して、できるようになりたい!

タパ・ススマさん (オークス)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N2
バグルン
ポカラ
ギョウザ (鶏肉、ラム肉、しょうが、にんにく、マサラが入っている)
ラーメン (特に辛ラーメン)
自動販売機 (ネパールでは見たことなかった。最近できたらしい。)
介護福祉士の免許をとりたい!
仕事頑張ります!

ガハ・ヤム・クマリさん (向陽園)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
ナワルパラシ
ポカラ、ルンビニ (仏教の開祖、釈迦が生まれたとされる地)
ダルバート
ちゃんぽん、ラーメン
電車に乗ること、時間のルールを守ること
人の役に立てる仕事をしたい
高齢者のお世話が好きなので、介護の勉強と仕事を頑張ります

マダイ・サンギタさん (向陽園)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
カトマンズ
エベレスト、ポカラ
ナン、カレーライス
とんこつラーメン、マクドナルド
カルチャーショック
勉強を頑張ります
いつまでも明るく、なんでも頑張っていきたいです

シュレスタ・ソバさん (かんざき清流苑)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N4
ゴルカ
スワヤンブナート寺院 (太古の昔、カトマンズ盆地がまだ湖だった頃からこの丘の上に立っていたという伝説をもつ、ネパール最古の仏教寺院とされる歴史ある寺院)
モモ (ネパール版の餃子のようなもの)
ラーメン
・電車が時間通り ・店員のサービスの高さ
・町がきれい
介護福祉士になりたいです。
頑張ります!



モモ

ターパ・アンジュさん (かんざき清流苑)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
シャンジャー
ポカラ (昔から交通の要所としても栄え、現在も 8,000m 級のヒマラヤの山々をいつでも眺められる街)
ダルバート (ネパールの定食を指し、野菜中心のヘルシーな料理)
唐揚げ、ラーメン
どこにでも自動販売機があって、とても便利な国だと思いました。
介護福祉士の免許を取りたいです。
頑張ります!



ダルバート

オジャ・サンギータさん (からつ医療福祉センター)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N4
ジャバ
カトマンズ (都市自体が観光スポットで寺院が多く、世界的に有名な寺院のパシュパティナートはヒンズー教徒以外立ち入れない)
クワ (牛乳を 2 時間火にかけながら混ぜた甘いスイーツ)
ラーメン
70 歳以上でも働いていること
介護福祉士の試験
利用者 (入所者) さんの気持ちを考え
生活のお手伝いがしたいです



クワ

ネウパネ・アンジャンさん (からつ医療福祉センター)



- ①日本語能力
- ②出身都市
- ③オススメ観光スポット
- ④好きな郷土料理
- ⑤好きな日本料理
- ⑥日本にきて驚いたこと
- ⑦今後挑戦したいこと
- ⑧ひとこと

JLPT N3
スندگانバザール
パシュパティナート寺院 (カトマンズにある世界遺産で、ネパール最大のシヴァ寺院。古くから巡礼の地でもある)
辛い味の料理
担々麺
ネパールには自動販売機がないので、日本に来て初めて見てびっくりしました。
元気に働きたいです。
これからもっと仲良くして過ごしたいです。よろしくお願ひします。

常務随想 『SDGs』を意識しよう

私の周辺ではまだそれほど多くは見かけないが、テレビ等で政治家やビジネスマンの胸元によく目にするようになったのが、17色の円形のカラフルなバッジ「SDGs バッジ」である。このバッジの着用は、「SDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます」という対外的な意思表示を行っているのである。「SDGs」とは「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」といい、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある、よい社会の実現を目指す国際社会の共通目標である。2015年9月の国連サミットにおいて、すべての加盟国が合意し、2030年を達成年限とした「17の目標」と「169のターゲット(具体目標)」から構成されている。あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰一人取り残さない世界を目指して17の国際目標を達成しようというものである。国際目標とは、①貧困②飢餓③保健④教育⑤ジェンダー⑥水・衛生⑦エネルギー⑧成長・雇用⑨イノベーション⑩不平等⑪都市⑫生産・消費⑬気候変動⑭海洋資源⑮陸上資源⑯平和⑰実施手段から成っている。日本でも2016年、政府が総理大臣を本部長とした「SDGs 推進本部」を設置し、「SDGs 実施指針」を策定して取り組みを進めている。

SDGsが目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現は、まさに社会福祉法人が目指している「地域共生社会」づくりにつながることから、当法人も会員となっている全国社会福祉法人経営者協議会が策定した「アクションプラン2025」において、プランの行動指針とSDGsの「17の目標」との対応状況が明示されている。

佐賀整肢学園は、基本理念に「感性」「先進」「情熱」を掲げ、時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて、医療福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組むと謳っている。

SDGsの取り組みは、まさに時代の要請であり、社会福祉法人として今後どのような対応が可能なのか、当法人においても、身近で喫緊の課題として検討していく必要があると考えている。

(法人常務理事 寺崎 敏光)

Relay Column



かんざき清流苑
在宅サービス課
介護支援専門員

おかだ とおる
岡田 透

突然ですが、私は胎児の頃より筋トレをしていました。(笑) 現在も筋トレを日課にしており、ほぼ毎日筋トレをしています。

ここで好きな本を紹介させて下さい。有名すぎる本だと思いますが、「筋トレは最大のソリューションである」著者はテストステロンさんです。

本書は自身が筋肉によって人生を変えた、その壮大なストーリーを簡潔に書かれてあり、私も2冊買いました。(笑) 本書の中にこんな言葉があります。

「ベンチプレス180キロには変えられない価値がある」どこかで聞いたことのあるフレーズだと思いますが、このベンチプレス、みなさん挑戦したことはありますか？私は毎日しています。(胎児の時から)

私の記録は追い追いつく事としまして、このベンチプレス180キロを私は目標にし、今後の人生を送っていきたくと思っています。みなさんも、是非ベンチプレスと共に180キロの世界と一緒に体験してみてください。

私事ですが、かんざき清流苑にて、通所介護、特別養護老人ホームと経験し、現在は、介護支援専門員の資格を取得して、居宅介護支援事業所と特別養護老人ホームを兼務しています。高齢者の方々が在宅での生活を安心して継続できるように、介護保険サービスを用い生活をマネジメントする仕事です。今までは施設に来所される方々に介護サービスを提供していましたが、提供が始まる前に、様々なことを経て介護保険サービスを利用されていたのだと実感しています。入社してから毎日が勉強の日々ですが、これからも頑張っていきたいと思っています。最後に、私から一言あるとするならば、筋トレは自己責任でお願いします。

NEXT…好学舎のあの人にバトンタッチ !!

令和3年11月～令和4年1月

協賛ランティヤ

【こども】 整肢学園友の会様 親和会様
【清流苑】 ビハール神埼様

施設見学来訪

【オークス】 嬉野特別支援学校 1名様 金立特別支援学校 1名様 中原特別支援学校 1名様
【かわ・絆】 (か) 唐津特別支援学校 16名様 大志小学校 1名様 (糸) 東風小学校 1名様

実習生受入

【オークス】 神埼清明高校 3名
【清流苑】 西九州大学スポーツ健康福祉学科 1名 神埼清明高校 5名
【かわ・絆】 (か) 西九州大学看護学科 4名 西九州大学リハビリテーション学科 1名
【向・わ】 筑後特別支援学校 1名

見どころ

異国を思わせる素敵な表紙で、令和4年最初の発刊となります。今号の事業所 TOPICS は、様々な行事や活動で季節を感じ楽しまれている姿がいっぱいです。つついつられて口を開けてしまいそうな記事も！またタイムス特集は、各事業所で頑張られている留学生の方々へのインタビューも掲載しています。見どころ満載の33号をぜひお楽しみください。

